

日東産業 株式会社



代表取締役
三村 節夫

福井県
福井市二の宮4-30-13

1958年(昭和33年)設立
0776-27-6880

<http://www3.fctv.ne.jp/~nitto/>

ウレタンフォームの
カッティングマシン
専門メーカー

高い技術と経験の力でウレタンカッティングマシンの高精度化の挑戦を続け、国内シェア70%を占める。

ユーザーの要望が技術の礎

ウレタンフォームの出現とともに、歩み続けて50年、常にユーザーからの要望に応えるべく、技術を磨き、縦切り、水平切り、テーパ切り等、様々な形状を製作し得る機械の開発に取り組み、現在その特質を持った機械は13種類に及び、専用機を入れればそのラインナップが広がる。

うすさの追求と軟質フォームの反発を利用した三次元形状加工

近年ユーザーの精度要望は車輛を中心に厳しい精度が求められ、特にスライス精度は、ウレタンブロックサイズ 1,500m/m×2000m/mに対し、2m/m±0.2m/m以内を要求されることもある。又、マットレスなどに利用される三次元形状の凹凸加工（プロファイル加工）は表面形状の限らない均一化が求められることがある。それらに対し、構造技術、刃の研磨技術などの更なる改良に取り組み、成果を挙げている。



二次元加工機の開発

現在、開発に取り組んでいる曲線加工機は、NC装置付、キャド対応の二次元カッティングマシンである。従来、人の手で経験を要する複雑形状加工が、安全でより高精度に製作可能となる機械を目指している。

